

# STAFF

都祁すずらん苑自慢のスタッフをご紹介します  
 現在、9歳・6歳・3歳の男の子のママである田中さん。  
 育児・家事そして当苑と、慌ただしい毎日を想像するも  
 彼女からあふれる屈託のない笑顔から、充実感がうかがえます♪



大学では美術専攻だったという田中智恵さん。卒業後、祖母のお世話をしているとき、そんな姿を見た当時当苑に勤務していた近所の方の勧めで、働き始めたのだそう。今年で16年目、その間に結婚・出産を経験し育児休暇を利用しながら職場に復帰。休暇も次男の時は半年だったという。なぜ仕事を続けられるのですか？とお聞きすると「子どもとガッツリ向き合う毎日は息がつまる…母でいる自分以外の自分でもいたかったです。妊娠中や産後も職場が気配りをしてくれたので、とても働きやすく出産経験のある上司や同年代のスタ

ッフ、そして何より職場が一緒にの協力の理解があるからこそ、こうして働くことができます。」夜勤もあるという中で、ご主人と田中さんどちらかが必ず家において、育児や家事をしているとのこと。最後に、大切にしていることは何ですか？という問いに「話かける言葉は、家族または自分に置き換えて嫌だなと思う言葉をかけないよう気をつけています。あと敬語で話すこと、敬意をはらうことを忘れないように。」そんな優しさ、ものづくりが好きだというその手先から生まれる「もの」たちも、周りを笑顔にしているのでしょうね。

## 介護ロボット ～ SASUKE ～

昨年11月、「奈良県老人福祉施設協議会職員研究会 研究分科会発表会」が行われ、当苑からは『介護ロボット SASUKE 導入と活用について ～人とロボットの共存～』をテーマに取り組みを発表しました。

『SASUKE』とは、2016年に導入した、車いすからベッドなどへの移乗介助を楽にするロボットのことで、介護業界での導入はまだ珍しく、スタッフ一人でも移乗介助が可能であり、



■発表の様子  
 (於：ホテル日航奈良)

腰部への負担が軽減されるため活用しています。ただ、時間がかかるなどのデメリットもあるため、今後も苑内研修をしながら改善していきたいと考えています。

## 編集後記

■あけましておめでとうございます。平成最後の年が始まりました。今年の4月30日で「平成」が終わるのは皆さんもご存知だと思いますが、次の年号はどんなものになるのでしょうか？■発表は1ヶ月前の4月とのことですが、この広報誌が発行される頃はすでに決まっているかもしれませんね。■過去の元号を分析しながら、「あれかな？これかな？」なんて新元号について考えるのも楽しいものです。■何にせよ、日本が明るく希望が持てる国であり続けられる、そんな印象を受けるような素晴らしい元号になることを期待しております。次回発行は新元号元年夏の予定です。(上)

■発行■ 2019年(平成31年)1月

事務局：都祁すずらん苑 広報委員会

〒632-0246

奈良県奈良市都祁友田町1437番地

社会福祉法人 大和会

高齢者総合福祉施設 **都祁すずらん苑**

E-mail: yamatokai-suzuran@nifty.com

http://suzuranen.blue.coocan.jp/new.html

Tel: 0743-82-2822

Fax: 0743-82-2833

都祁すずらん苑ホームページ



2019年1月 vol.2 高齢者総合福祉施設 都祁すずらん苑

# すずのね

SUZUNONE

## 初春のお慶びを申し上げます。

平成から新元号へ改元される変化の年が幕をあげました。

変わらず継承していかなければならないこと、変わらなければ継承していけないこと、私どもにとって今一度足元を見つめなおし、新たな発想をもって展開していくことが必要であると考えております。

孔子の言葉にあります「年を重ねることには深い意味があり、素晴らしいことである」という価値観が存在している」を実感していける未来へ。

ご縁をいただくすべての皆さまに感謝し、ご利用者・ご家族に寄り添い、地域とともに、本年も職員一同精進して参ります。新しき年が幸せ多き希望のもてる一年になりますよう心からお祈り申し上げます。

都祁すずらん苑 施設長 中西 幸有里